

健康ふらざ

No.381

企画:日本医師会

たい じょう ほう しん

帯状疱疹

実は子どもの頃にかかった水ぼうそうが原因

体の片側に、痛みを伴う、赤いブツブツや、水ぶくれがでる

帯状疱疹は、水ぼうそうウイルスが原因です。

子どもの頃に水ぼうそうにかかった後、

ウイルスはそのまま神経の根元に潜みます。

その後何年も経過して、加齢や病気の後など体が弱ったときに、

潜んでいたウイルスが再び力を取り戻して帯状疱疹が起るのです。

帯状疱疹は一度だけなる人が多いですが、

20人に1人くらいの割合で2回以上かかることがあります。

欧米では50歳以上の人に

帯状疱疹のワクチン接種が勧められています。

帯状疱疹になってしまったら、栄養と睡眠を十分にとり、

過度な疲労やストレスを避けるように心がけましょう。

通常は皮膚の症状が治まると痛みも消えます。

初期から痛みが強い場合には、

ピリピリとした神経痛が残る場合がありますが、

早期治療により防ぐことが可能です。

痛みを伴う皮疹が出たら、早めにかかりつけの医師に相談し、

皮膚科専門医を受診するようになりましょう。

特徴

- 右半身か左半身のどちらか一方に集まって発疹がでる
- 発疹は赤みとピリピリとするような痛みをともなう
- 皮膚の表面だけでなく奥からも痛みを感じる
- 発疹は水ぶくれになる
- 水ぶくれはかさぶたになった後に治る

子どもの頃
水ぼうそうに
かかった

